

真

田

真田で楽しく！元気に！暮らしたい人のための月刊フリーペーパー

いきいき♪

活き活き ふるさと通信

第8号 2010年10月15日発行【真田地域に全戸配布】

大きな写真で登場したのは、菅平自治会にお住まいの丸山富治（とみはる）さん、91歳。
レタス栽培農家として、根っからの菅平人です！若き日の丸山さんも素敵！

撮影 スタジオセブン 佐藤和雄



左から、上野涼音(りおん)ちゃん(上田市在住)。9月14日どんぐりの会主催の「キッズ体操」にて、れんくん・みやざき先生(シーバス篠ノ井店)・みやびちゃん。稲垣優花(ゆうか)ちゃん(上田市在住)。羽田雄斗(ゆうと)くん(横尾在住)。

真田地区の子どもたち、新成人、還暦、100歳の方の写真を募集中！掲載は無料です。掲載希望の方は、巻末に記した編集部まで写真を送付いただくか、メール(kawaraban@ued.janis.or.jp)にデータを添付ください。

真田幸村公の「のぼり旗」でまちおこし 真田町商工会 青年部

●真田町に入ると、国道沿いに、真田幸村公の「のぼり旗」を多数見かけませんか？

真田町商工会青年部では、地域の活性化を図るためのさまざまな活動をしており、このたび真田町をアピール出来るアイテムの一つとして、のぼり旗を作成しました。のぼり旗のデザイン・イラストは、久織ちまき先生にお願いいたしました。



部長 清水裕人さん



副部長 田中新平さん

●幸村公は、歴女や子どもに大人気

最近では、歴史検定が実施されるなど歴史ブームであり、また、歴史好きの女性を「歴女」と呼ぶ言葉も浸透してきています。

その中で、真田幸村公は、歴女が選ぶ「好きな戦国武将」の上位に常に位置しており、全国的に人気のある人物の一人です。また、人気ゲームの中の登場人物でもあり、子ども達にも大人気です。

●真田町へ愛着をもつ！

真田町商工会青年部では、真田町に対して、子ども達に愛着を持ってもらえるように、また、真田町を離れた人々にも愛着を持っていただけたらと思っております。のぼり旗は、真田町のシンボルであり、町のアピールに役立てばと、思っています。

(下) クリアファイル・3種類 (右) のぼり旗



のぼり旗・クリアファイル（3種類）につきましては、
真田町商工会 青年部までお問い合わせください。電話 72-4050



行ってきました！



このページに掲載をご希望の活動がありましたら、真田地域包括支援センターまで
☎72-8055 有線 2080

今回の訪問先は

傍陽小学校 ふれあい伝承広場 です

傍陽小学校では、平成5年から「ふれあい伝承広場」を開催しており、18回目を迎えます。

今回は、25名の長寿会会員の皆さんが、餅つき、五目並べ、竹馬、コマ回し、お手玉・おはじき・あやとり、水でっぼう、ゲートボールなどの遊びを、119名の生徒に伝承してくださいました。



- ☆(写真上段左より)すぐに竹馬を乗りこなした、運動神経の良い子どもたち！
- ☆コマに紐が巻けずに四苦八苦...教えてもらう子ども、教えているおじいちゃんも真剣そのもの。
- ☆自分で作ったお手玉やあやとりは宝物。「家に帰ってお母さんに自慢しちゃおうっと！」
- ☆参加した160人に3つの味(あんこ、きなこ、大根おろし)を楽しんでもらおうと、なんと480個の大餅つき大会！
- ☆トーナメント方式で順位を競った五目並べ。なんと準優勝は2年生の男の子。優勝は...もちろん、おじいちゃん！
- ☆手作りの水でっぼうで、びしょ濡れに。暑い日だったので、最高に気持ち良さそうでした。
- ☆ゲートボールは誰でも楽しめるスポーツです。



傍陽地区長寿会会長の半田富男さんは、「伝承遊びは、私たちが子どもの頃に夢中で遊んだものばかりです。そんな遊びを大切に次世代に伝えていくため、会員の皆さんも子どもの頃に帰った気分、児童に楽しく教えることが出来たと思います」と笑顔で話していました。

「住み慣れた地域で自分らしくいつまでも」をみんなで考える会

“「住み慣れた地域で自分らしくいつまでも」をみんなで考える会”が、平成22年9月18日(土)に真田公民館で開かれ、町内から80人ほどの参加がありました。これは6月の開催に続く第2回目で、前回同様、高齢者福祉とまちづくりをテーマに、真田の郷の今後について学び合いました。

今回は、長年在宅介護の支援に力を注いできた時田純さん(一般社団法人24時間在宅ケア研究会理事長・神奈川県小田原市)をお招きし、「地域で支え合うこれからの日本型モデル」と題してお話いただきました。

最期まで家に住み続けられる手助けを

時田さんは、32年前に特別養護老人ホーム潤生園を開設するも、本人が望んで施設へ来たわけではない現実を見て、「自分はお年寄りの捨て場をつくってしまったのではないか」「本当は住み慣れた地域で最期まで過ごしたいに違いない。最期まで家に住み続けられる手助けをすることが社会福祉法人の役目だ」と考え、次々に地域生活に必要なサービスを自主財源で提供し始めました。

要は食事と、24時間の見守りサービス

家で暮らす人が一番切望する食事サービスは、昼夜2食を365日提供しており、食事を各戸へ届ける際に、部屋で倒れている人や孤独死を発見することもあるそうです。

家で暮らす人が2番目に切望するサービスは、24時間365日いつでも必要な時に利用できる訪問介護です。特に、夜間の見守りサービスがあれば、在宅で長く暮らすことが可能になります。これについて時田さんは、平成18年に制度化された「夜間対応型訪問介護」サービスをもっと利用・普及してもらいたい、と説きます。ナースコールが自宅に設置

され(設置料無料)、いざというときに助けを求めることができるほか、定期巡回もお願いすることができ、月額1,000円の自己負担でこれらの“安心”を買うことができるからです。残念ながら、上田市ではこのサービスを導入していません。

国の検討委員にもなっている時田さんからは、今後の国の高齢者福祉の方向性や、人材育成などについても話が及び、同席した市議会議員からは、介護保険の給付抑制をめぐる質問や、今後アザレアンなどが限界集落を対象に実施する「集合住宅等に居住する要介護者等に対する総合支援モデル事業」への質問などが出されました。

今回は、11月20日(土)17時より、真田公民館で開催する予定です。

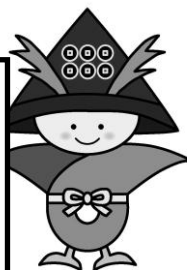


三州陶器瓦販売施工、グリーンカー施工工事店
⑧エコリサイクルWルーフ施工工事店
＜屋根の事ならお任せ下さい＞

株式会社 若林

〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 562-2
TEL 0268-75-3222 FAX 0268-75-3223

かり丸くん



真田グッズ

真田^{かり}雁丸屋

詳しくは

かり丸くん 又は さくらゆき

で 検索 (Tel 0268-23-7313)

おらが 1番!

真田に住む方々の“プチ自慢”を聞く ◆第10回◆

渡辺 ^{たけし} 猛 さん (69歳・表木自治会在住) をインタビュー!!!

私が今取り組んでいるのは、太陽光発電です。自分の仕事とも関係があります。

水が大量に必要な場合には、井戸を掘ることになります。電気が来ているところだと容易に作業できますが、そうでない場所では多くの困難が生じます。そこで太陽光発電を考えました。これが実用化されますと、さまざまな分野での活用が望めます。

ボランティア活動では、新しくオープンする真田図書館の「サポーターの会」会長を務めています。先日、本の引っ越し作業が行われましたが、サポーターと真田中学校の生徒さんの計140余名の協力により、無事終了しました。感謝しています。11月19日(金)の開館が待ち遠しいですね。



掲示板

情報をお寄せ下さい。掲載無料。

「真田活き活きふるさと通信員」を大募集!

「今度、こんなイベントがあるよ」「庭に季節の花が咲きました」「あのお店はこんなサービスをしているんだって」など、身近な情報を編集部へお寄せくださる通信員を募集します。一緒に真田のまちを再発見しませんか? 詳しくは、編集部まで (TEL 72-2781、有線 2111)。

投稿募集

- ① 表紙の写真に登場いただける方を大募集。スタジオセブンの佐藤和雄さんに撮影していただけるチャンスです! また、あなたが撮影した家族写真もお待ちしています。
- ② 「うちのグループを紹介してほしい」「このお店を取材してほしい」「イベントを開くので、情報を載せてほしい」などの投稿也大歓迎!

編集部までお寄せください (TEL 72-2781、FAX 72-4702、E-mail kawaraban@ued.janis.or.jp)

ニッセイ財団高齢社会先駆的事業「ハイブリット・ケア(地域分散型サテライトケア)の展開と新たな地域づくり」とは

社会福祉法人恵仁福祉協会(高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ)では、平成21年10月26日からニッセイ財団より助成金を受け、標記事業を始めています。子どもからお年寄りまで、また地域で商売や活動をしている人たち全員の“いいところ取り”をして元気に暮らせる真田の郷にしようという活動です。通信の発行もその一環です。



～茶庵～

日替りランチ 600 円<<コーヒー付 700 円>>数に限りがあります。

軽食(カレー・ピラフ等)やスイーツもごさいます。

TEL (0268)72-8100 定休日・日曜日

11:00 ~ 17:00 (ラストオーダー16:30)

◇◇求む!こんな物件◇◇

「郊外の物件」、人里離れた場所大歓迎!

「こんなとこ売れないよ。」という場所でも人によってはそこが憧れだったり...
カンリーハウス21は田舎暮らしを夢見るお客様のお手伝いをしております。

↓お問い合わせはこちらへ、お気軽にどうぞ!



真田町本原 1967-33 (担当: 石井)

いきなりホットライン: 080-5108-9701

ホームページは、<http://ch21.naganoblog.jp/>

広告募集中! 1か月 3,150 円/3か月 6,300 円(税込)

みどりの大地

上田市真田町渋沢 TEL: 72-2663



群馬県に抜ける鳥居峠の手前、渋沢地区で 20 年前からこだわりの野菜を直売している「みどりの大地」。大きな柔らかいキャベツ 1 個 150 円、大きな白菜も 150 円、ブロッコリーが 100 円。買い物に立ち寄るお客様が絶えません。

営む大久保悦夫さん、幸子さんご夫妻が、とにかく味の良い物、品質の良い物をと畑の土作りからこだわった野菜ばかり。白菜やキャベツも昔ながらの品質で病気にも弱いためスーパーの店頭には並んでいない自信作だそうです。味見に出されているキ



ャベツを食べたら、柔らかくて甘みがあり、本当においしい！！

一番の人気商品はトウモロコシで、収穫した 7 割は全国への発送分で終わってしまうのですが、今年は猛暑のため収穫が早く終わってしまいました。この日も「トウモロコシはもうないの？」と立ち寄られた方がいました。

お店は 11 月末で店じまいになり、冬季休業を経て、来年 7 月下旬に店開きの予定です。

スペースの一角を借り、「クローバー・クローバー」という手作りのケーキ屋さんが、ベーグルの出張販売もしています。8 月と 9 月の毎週土曜日限定で、トウモロコシや大納言、ブルーベリーなど 5 種類を販売。みどりの大地のトウモロコシから始まったご縁だそうで、「ここの野菜は味が違う。味は値段で買えませんから」という言葉が印象的でした。



読者の交差点

- ▼毒キノコが誤って販売されたニュースをよく聞きます。きのこ博士のコーナーがあれば嬉しいです。(K.Y)
- ▼田んぼの稲が全部倒れてしまい、稲刈はタイヘンでした。稲刈が終わったら一気に冬支度です。冬を楽しむ企画をお願いします。(H.T)
- ▼9 月 18 日の「みんなで考える会」に参加しましたが、一般の住民には難しかったです。今度はわかりやすくしてほしいです。(M.T)

編集後記 ●世界に 1 つの言葉しかなかったとしたら、「ありがとう」を選びます。毎日、口にしたい言葉です。[小林 彰] ●より多くの人々に真田町をアピール出来たらと思っておりますので、情報をお待ちしています。[依田和明] ●「住み慣れた地域で自分らしくいつまでも」の講演会に、大勢の皆さんからご参加いただき、ありがとうございます。安心して生活のできる地域づくりのために必要なものは？…見守りと食の大切さを改めて思いました。[大野幸子] ●ふるさと通信員に立候補をお願いします！！[田中文子]

発行元：「真田 生き生きふるさと通信」編集部

事務局：高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内

〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 TEL 0268-72-2781 FAX 0268-72-4702

E-mail kawaraban@ued.janis.or.jp

ホームページ http://www.azarean.jp/Group1/Contents/0402_nissei_kouho.aspx

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は 2010 年 11 月 15 日の発行です。